

東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスの 対応について

2020年3月10日

東北電力株式会社 送配電カンパニー

東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスに関連し、下記について報告する。

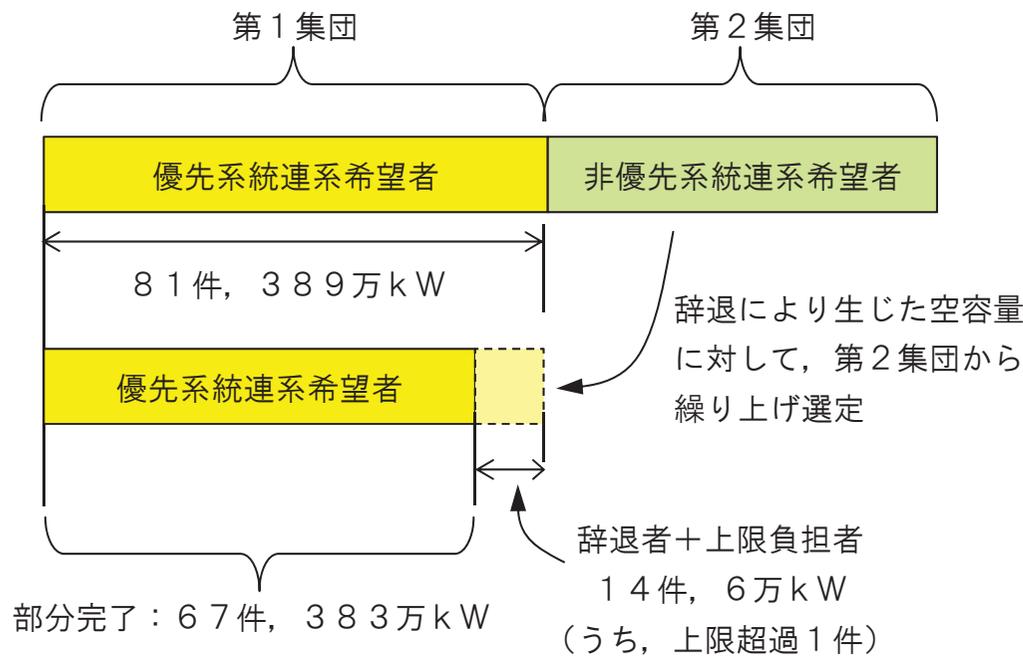
1. 募集プロセスの現状と今後の予定について
2. 募集プロセス対象エリア外におけるアクセス検討の取扱いについて

1. 募集プロセスの現状と今後の予定について

- 10月末に再接続検討結果を回答し、優先系統連系希望者（第1集団）81件、389万kWからの共同負担意思確認の結果、13件の辞退と1件の負担可能上限額※超過者が発生し、残った事業者67件、約383万kWにて入札負担金総額が入札対象工事費を上回ったことから、募集プロセスが部分完了。

※共同負担意思確認時に共同負担意思があることを表明する事業者は、他の事業者が辞退した場合の工事費負担金の増加に備えて、事業性から合理的に許容される工事費負担金の上限額をあらかじめ申告するルール。

- 現在、辞退により生じた空容量に対して、非優先系統連系希望者（第2集団）からの繰上げ選定を実施中であり、3月下旬に事業者へ通知する予定。



優先系統連系希望者 67件, 連系容量 383万kW

電源種別	件数[件]	連系容量[万kW]
太陽光	2	2
陸上風力	24	115
洋上風力	16	260
その他再エネ (バイオマス等)	25	6
合計	67	383

2. 募集プロセス対象エリア外へのアクセス検討の取り扱い

P4

- 第20回系統WG（2019.3/18開催）にて報告済みの「募集プロセス対象エリア外の接続検討の回答の取り扱い」について、募集プロセスが部分完了し、基幹系統整備に係る入札対象工事が確定したことから、正式な回答へ向けて技術検討が可能となる、第2集団からの繰上げ選定後（3月下旬目途）に再開することとしたい。

第20回系統WG(2019.3/18)資料3抜粋

2. 募集プロセス対象エリア外におけるアクセス検討の取扱いについて P13

【対象エリア外における接続検討結果の回答の取扱い】

- 募集プロセス対象エリア外において、既設系統の空容量を超過し、募集プロセスの系統対策を考慮したほうが合理的と考えられる案件については、工事实施や工事内容が確定する募集プロセス完了後に正式な接続検討の回答をする。
- ただし、募集プロセス完了までには一定期間必要となるため、事業者のニーズに応じて、現状の入札対象工事等を前提とする条件のもと、接続検討の中間報告として電源線や周辺系統整備の概算工事費および概算工期の情報について提供をする。

り、そう、ちから。

東北電力